

# 女性が健康で働くということ

～はたらく女性の健康調査から～

自治労大分県本部津久見市職員労働組合 谷 口 弥 佳

大分県本部女性部では、例年、働く女性の権利確立強化月間と国際女性デーに併せて、三月上旬に女性のスキルアップやリフレッシュを目的に生き生き女性セミナーを開催しています。

二〇一三年度は、全国労働安全衛生研究会副代表 山田厚氏を講師に迎え「女性の働き方と性差について」を拝聴しました。歴史的に見ると男性社会に女性が参画する形で女性の有償労働が広がったことは知っていましたが、あらゆる労働環境が男性基準となっており、男性の身長を基準に作られた机や椅子の高さが女性の肩こりや腰痛といった健康被害につながっていることをはじめて知りました。

このことをきっかけに、全女性部員を対象に『働く女性の健康についてアンケート調査』を実施しました。二千人を超える回答から、女性の健康状態を勤務形態（「日勤のみ」と「夜勤がある」）、年代別に集計しました。「定年まで働きますか」という問いでは「働かない」という回答は、日勤のみが一八・〇八%であったのに対し、夜勤がある場合は四〇・九二%を占め、日勤のみの勤務形態を大きく上回りました。さらに、「更年期と思われる症状

がありますか」「何らかの生理不全がありますか」「病氣・諸症状がありますか」という全ての問いに対し、「ある」との回答を夜勤ありの勤務形態が上回りました。このことから、深夜労働は女性の健康被害をもたらす要因の一つと考えます。

また、年齢や勤務形態を問わず貧血の症状がある人が多いこと、何らかの生理不全がある人は全体の半数を超えていることなど明らかになりました。しかし、生理休暇の取得率は非常に低く、全体の六%程度にとどまっています。全体を通して、女性が心身を酷使して働いていることが浮き彫りになりました。

私たちは、健康を維持するために適度な運動を心がけたり、「体に良い」と言われるものを食べ、サプリメントを口にし、女性の健康を維持するためには、女性の健康のバロメータと言われる生理の時期くらいは生理休暇を取得し、体をいたわることができると労働環境を整える必要があります。

また、男性基準の社会の中で働くために女性が苦痛に耐えるのではなく、男女を問わず「性差を理解することこそが真の男女平等につながると考えます。

# はたらく女性の健康調査

自治労大分県本部 女性部

全国労働安全衛生研究会協力 2013年3月調査 回答2,012人

私たち、女性は子どもを「産む」「産まない」「産めない」に関わらず、ホルモンバランスが変化することによって、心身の健康を損ねてしまうことがあります。皆さんにご協力をいただいたアンケートの結果から、働き方や働く環境、女性の健康について考え、自分の体をいたわりましょう。

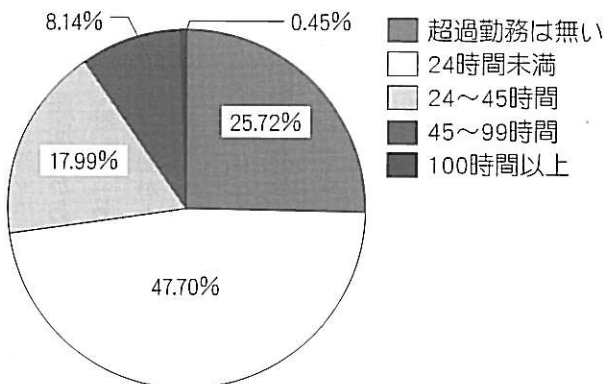
## 1. 年齢別人数割合

全体	2,012人	100.00%
10～20歳代	318人	15.81%
30歳代	594人	29.52%
40歳代	659人	32.75%
50歳～	441人	21.92%

## 2. 超過勤務

半数近くの方が時間外勤務は24時間/月ですが、100時間/月を超える人もいます。

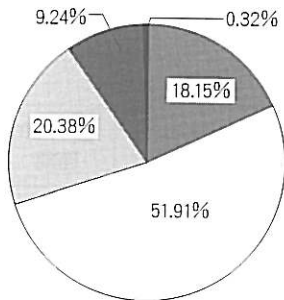
年齢区分	超過勤務は無い	24時間未満	24～45時間	45～99時間	100時間以上	超過勤務は無い	24時間未満	24～45時間	45～99時間	100時間以上
全体 1,979人	509人	944人	356人	161人	9人	25.72%	47.70%	17.99%	8.14%	0.45%
10～20歳代 314人	57人	163人	64人	29人	1人	18.15%	51.91%	20.38%	9.24%	0.32%
30歳代 590人	152人	283人	106人	45人	4人	25.76%	47.97%	17.97%	7.63%	0.68%
40歳代 648人	170人	287人	129人	59人	3人	26.23%	44.29%	19.91%	9.10%	0.46%
50歳～ 427人	130人	211人	57人	28人	1人	30.44%	49.41%	13.35%	6.56%	0.23%



年齢毎の時間外勤務状況をグラフにしました。

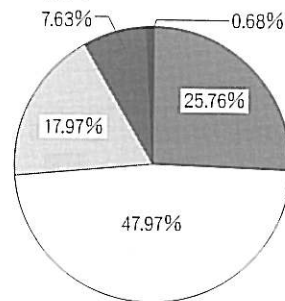
年齢に関係なく、時間外勤務が24時間未満/月が半数前後を占めています。

10～20歳代



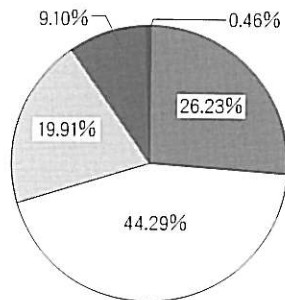
- 超過勤務は無い
- 24時間未満
- 24～45時間
- 45～99時間
- 100時間以上

30歳代



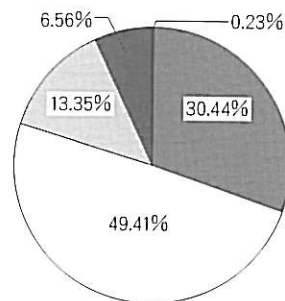
- 超過勤務は無い
- 24時間未満
- 24～45時間
- 45～99時間
- 100時間以上

40歳代



- 超過勤務は無い
- 24時間未満
- 24～45時間
- 45～99時間
- 100時間以上

50歳～



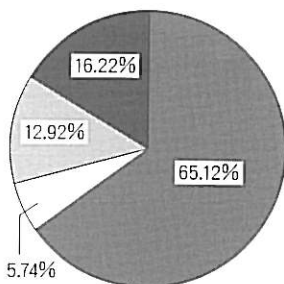
- 超過勤務は無い
- 24時間未満
- 24～45時間
- 45～99時間
- 100時間以上

### 3. 勤務形態

年齢別に勤務形態をグラフに示しました。

年齢区分	勤務形態			勤務形態					
	日勤のみ	休日出勤が多い	早番・遅番	夜勤あり	日勤のみ	休日出勤が多い	早番・遅番	夜勤あり	
全体	2,004人	1,305人	115人	259人	325人	65.12%	5.74%	12.92%	16.22%
10～20歳代	317人	176人	20人	44人	77人	55.52%	6.31%	13.88%	24.29%
30歳代	592人	380人	30人	78人	104人	64.19%	5.07%	13.18%	17.57%
40歳代	658人	458人	44人	70人	86人	69.60%	6.69%	10.64%	13.07%
50歳～	437人	291人	21人	67人	58人	66.59%	4.81%	15.33%	13.27%

全体



- 日勤のみ
- 休日出勤が多い
- 早番・遅番
- 夜勤あり

#### 4. 超過勤務と勤務形態

勤務形態の違いによる健康への影響を比較するため日勤のみの勤務形態と、夜勤がある場合を比べてみました。ほとんどの年代で日勤のみと夜勤がある場合では「超過勤務はない」という回答に大きな開きがあります。

##### (1) 日勤のみ

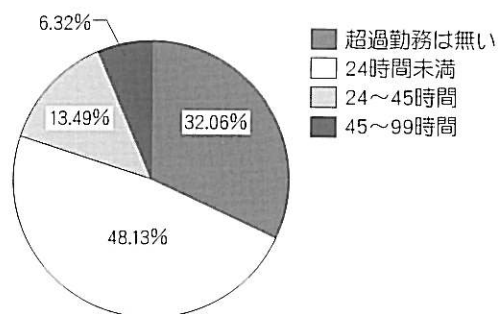
年齢区分	超過勤務は無い	24時間未満	24～45時間	45～99時間	超過勤務は無い	24時間未満	24～45時間	45～99時間
全体 1,282人	411人	617人	173人	81人	32.06%	48.13%	13.49%	6.32%
10～20歳代 174人	46人	98人	24人	6人	26.44%	56.32%	13.79%	3.45%
30歳代 374人	129人	178人	45人	22人	34.49%	47.59%	12.03%	5.88%
40歳代 450人	141人	208人	68人	33人	31.33%	46.22%	15.11%	7.33%
50歳～ 284人	95人	133人	36人	20人	33.45%	46.83%	12.68%	7.04%

##### (2) 夜勤がある

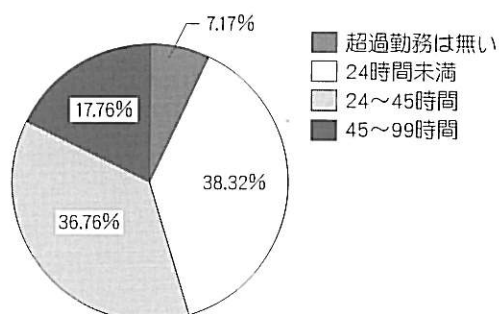
年齢区分	超過勤務は無い	24時間未満	24～45時間	45～99時間	超過勤務は無い	24時間未満	24～45時間	45～99時間
全体 321人	23人	123人	118人	57人	7.17%	38.32%	36.76%	17.76%
10～20歳代 76人	1人	31人	24人	20人	1.32%	40.79%	31.58%	26.32%
30歳代 103人	2人	41人	44人	16人	1.94%	39.81%	42.72%	15.53%
40歳代 86人	7人	24人	38人	17人	8.14%	27.91%	44.19%	19.77%
50歳～ 56人	13人	27人	12人	4人	23.21%	48.21%	21.43%	7.14%

#### 全 体

##### (1) 日勤のみ



##### (2) 夜勤がある

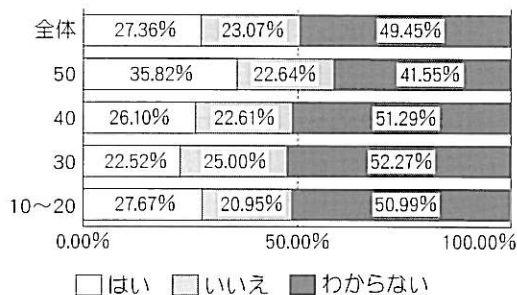


## 5. 「定年まで働きますか。」という問いに「いいえ」と回答した人。

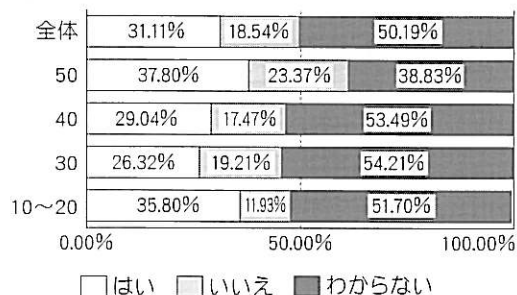
日勤のみと夜勤がある勤務形態では「定年まで働かない」という回答に大きな差があります。「定年まで働かない」のはなぜなのか？

更年期の症状や、生理不全など、勤務形態と体調についてみてみましょう。

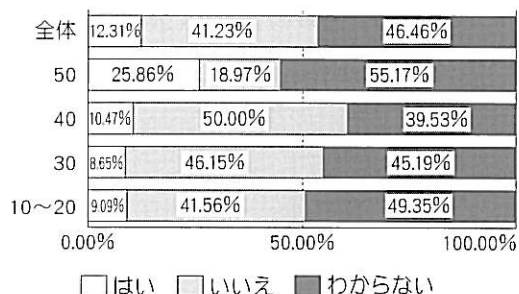
### 日勤のみ+夜勤あり



### 日勤のみ

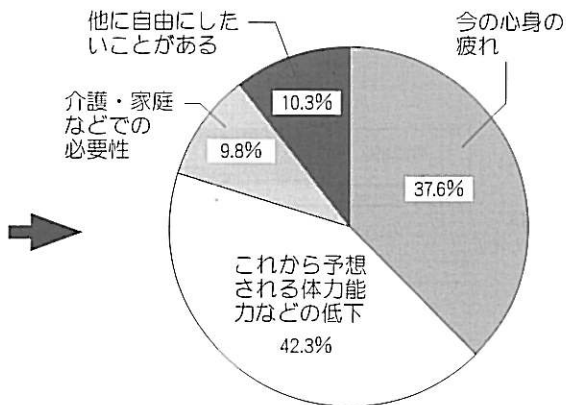


### 夜勤あり



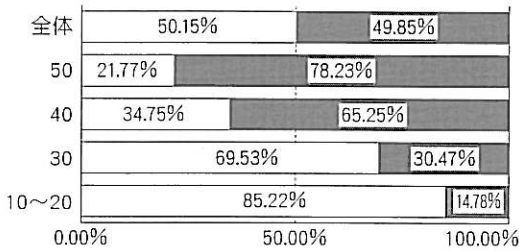
### 働けないと思う理由

年齢	今の心身の疲れ	これから予想される体力能力などの低下	介護・家庭などでの必要性	他に自由になりたいことがある
10~20	49人	23人	6人	13人
30	84人	99人	17人	29人
40	105人	137人	25人	31人
50	73人	91人	33人	12人
全体	311人	350人	81人	85人



## 6. 更年期と思われる症状がありますか。

加齢とともに、更年期症状を訴える人が多くなりますが、10～20歳代でも症状を訴える人が1割以上います。30歳代で3割、40歳代で6割強、50歳代では8割近くの人に症状があることが分かります。過重労働による女性の早老化傾向が読み取れます。



年齢区分	総回答者数	更年期の症状がある	%
全体	2,012人	1,003人	49.85%
10～20歳代	318人	47人	14.78%
30歳代	594人	181人	30.47%
40歳代	659人	430人	65.25%
50歳代～	441人	345人	78.23%

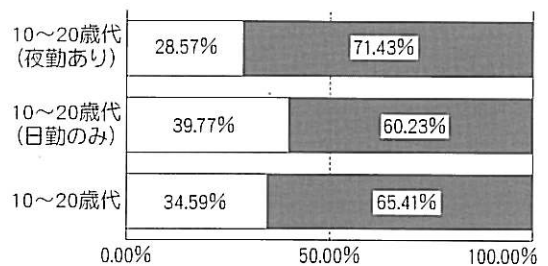
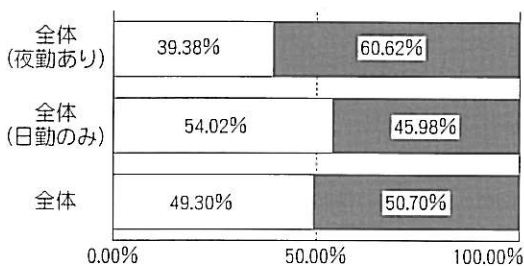
更年期症状はない  何らかの更年期症状がある

## 7. 何らかの生理不全がある

勤務形態の違いによって、生理不全を訴える人の割合に差があります。全体のグラフで見ると日勤のみと、夜勤ありでは15ポイント近くの差があります。

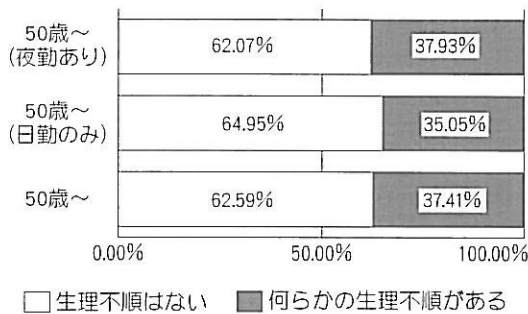
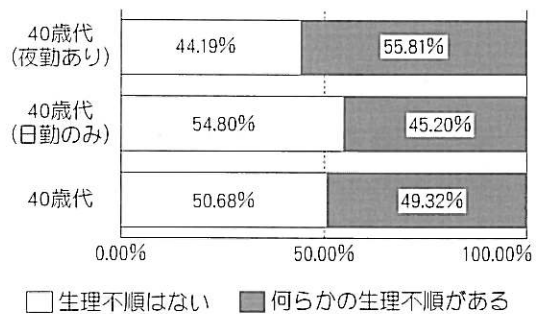
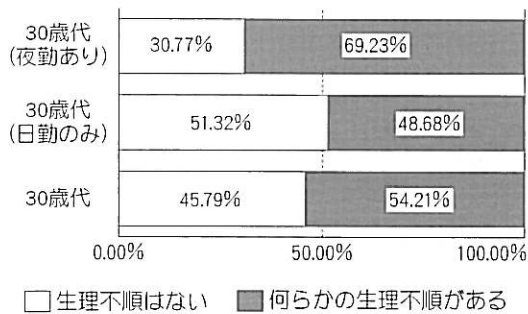
特に30代の症状の差は顕著に表れています。

年齢区分	総回答者数		日勤のみ		夜勤あり	
		ある		ある		ある
全体	2,012人	1,020人	1,305人	600人	325人	197人
10~20歳代	318人	208人	176人	106人	77人	55人
30歳代	594人	322人	380人	185人	104人	72人
40歳代	659人	325人	458人	207人	86人	48人
50歳～	441人	165人	291人	102人	58人	22人



生理不順はない  何らかの生理不順がある

生理不順はない  何らかの生理不順がある



## 8. 病気・諸症状がある

女性は、過労状態になると貧血になる割合が高くなるとともに、貧血になると生理不順や生理の症状が重くなると言われています。また、過重労働による女性の早老化や加齢とともに現れる更年期の症状、さらに疾病のリスクは高くなっていることが読み取れます。

10～20歳代		30歳代		40歳代		50歳～	
①貧血	70人	①貧血	140人	①貧血	180人	④高血圧	117人
③膀胱炎	19人	⑦子宮筋腫	61人	⑦子宮筋腫	111人	⑦子宮筋腫	97人
⑨卵巣腫	12人	③膀胱炎	51人	②子宮内膜症	55人	①貧血	85人
②子宮内膜症	9人	②子宮内膜症	45人	③膀胱炎	49人	⑤高脂血症	71人
⑩膣炎	9人	⑨卵巣腫	30人	④高血圧	48人	③膀胱炎	40人
⑥自律神経失調症	8人	⑥自律神経失調症	23人	⑨卵巣腫	43人	⑥自律神経失調症	25人
⑧子宮腺筋症	8人	⑩膣炎	16人	⑥自律神経失調症	27人	⑨卵巣腫	16人
⑦子宮筋腫	7人	⑧子宮腺筋症	9人	⑤高脂血症	19人	②子宮内膜症	15人
④高血圧	3人	⑤高脂血症	8人	⑧子宮腺筋症	18人	⑩膣炎	8人
⑤高脂血症	3人	④高血圧	4人	⑩膣炎	8人	⑧子宮腺筋症	6人